

良識ある保守主義・情報公開

# 吉田つとむ

町田市議会議員 (4期連続トップ当選)

〒194-0011 町田市  
成瀬が丘 1-14-12  
サンホワイト E103-13  
☎ 042-795-7361 (FAX: 必  
要に応じて186を頭に加える)  
議会 042-724-2171  
yoshidaben@gmail.com



## 市長等の議会会派への挨拶周り

国会では予算が通った会期末に、総理大臣が主要閣僚を伴って、議会の会派に挨拶まわりをするのが慣例になっています。まず、野党第一党を訪ね、他の全会派(参議院では10名以上が院内交渉団体、2名以上で会派)の会派室に入って回るものですが、予算案などの賛否にかかわらず、御礼の挨拶をして廻ります。吉田はそうした最小会派の政党事務員(国会職員のような公務員ではない)をしていたことがあり、当時の中曽根総理の来訪を受ける側の小部屋が仕事場でした。

町田市議会でも同様な慣習がありましたが、近年、市長等の理事者は私が所属する無所属会派などの一部の会派を飛ばして挨拶周りをしています。その理由はわからないので、議会の本会議で尋ねました。(1)理事者の議会会派の挨拶周りはする、しないの差はあるのか。(2)(1)は気分によって変えるのか、一貫した方針にもとづくか。という次第の質問です。これは挨拶をしてくださいと言うものでなく、政治の基本は、真摯な人の向き合いではないかと言う見解です。\*詳細は次号掲載



郷土芸能祭り(2018年議長時代)の写真

## 長期収載品選定療養費の導入

町田市民病院にかかわる条例改正案ですが、この説明では、患者の希望により長期収載品\*を処方した場合、長期収載品から、最も高額な後発医薬品(ジェネリック医薬品)の価格を除いた価格の4分の1の相当額を「長期収載品選定療養費」として徴収します。さらに、\*ここでいう長期収載品とは、先発医薬品のうち、後発医薬品が公表されてから5年経過した等の一定の要件を備え、最も高額な後発医薬品を超えた価格のものをいいます。という説明がされています。



医療費の引き下げでは、医薬品の引き下げが最も有効であり、そのためにはジェネリック医薬品の利用拡大が最も効果がわかりやすい方法です。ただし、容易にはその切り替えが効かずにいる例が出ているからでしょう。町田市民病院にとっては収入増につながる方法が、厚生労働省の新たな告示によって提起されるものです。その分、患者にとっては、自分の負担額がどの程度多くなるかを勘案する必要が出てくるということだと思いました。

○支持政党なしの方々の代表=吉田つとむの基本理念は、良識ある保守主義です。

○吉田つとむは、「若者育成」をトップの政策に掲げています。

◎町田市内企業が開発した「水耕栽培メロンの世界一決定戦」を開催しよう!

●吉田つとむは令和4年2月実施の市議会議員選挙で、4期連続のトップ当選を果たしました

若い世代の育成に全力をささげる  
町田市議会議員(4期連続トップ当選)

# 吉田つとむ



ブログ 個人HP



メールは  
左記を読込  
して送信



好評インターンシップは、  
夏季休暇期間中の募集開始

## 政務活動費使途の公開質問状の会派回答文

### 議会各会派への質問状に対する無所属会派回答

町田市政を考える会・草の根という団体から、政務活動費使途に関する公開質問状を各会派に出したと通知を受け、無所属会派では、期限前の5月30日に以下の趣旨の回答を出しました。

- 議員個人名の明示：明記しても構わない
- 会計帳簿の統一：様式は統一されている
- 市民意見のパブコメ：「議特」で社会情勢に先んじ、ルール改正に取り組む。市の予算計上を前提にパブコメを推進する。
- 外部の専門家によるチェック体制を構築する：市の予算計上を前提に、チェック体制を構築することに取り組む。
- 2018年以降の支出に関して裁判の結果を踏まえた返還について：今回の判決に従って、必要な返還をする



なお、この団体による政務活動費裁判が2017年度以前の3会派にあり、双方の弁論の後、2024年2月に東京地裁で判決が出たもので、おおむね選挙前に集中した広報紙発行費、同様の備品購入費、説明のつかない交通費、駐車場代などの全額が返還、ガソリン代と通信費など、公私の判別の難しいものの半額の返還が必要と求められ、3月までに当該会派の全額が返還済です。

吉田つとむにかかわる使途に関しては、独自に弁護士を立て、裁判所が求める追加資料もそろえ、審理を受けました。その結果、通信費(固定電話・FAX・携帯電話の通信料のみ)の半額のみ返還が必要で、他のすべての項目については返還を求められない結論でした。

## インターン体験記：酒井 優子②

町田市議会にて、吉田つとむ議員に対する職員の方による町田駅を議題としたヒアリングを見学してきました。話題に挙がっていたのは、“モノレールの建設”、そして“町田駅のペDESTリアンデッキ”についてでした。町田市では、多摩都市モノレールの町田方面延伸を促進しています。しかし、その建設の計画は不明瞭であり、いつ開通するのか分からない状況にあります。

そこで、まず今できることとして、町田駅の清潔感を出すこと、特に小田急町田駅側のペDESTリアンデッキの汚れをどうにかすることではないか、と吉田議員が尋ねていました。私は普段、JR町田駅から中央図書館に出るデッキを利用しますが、正直なところ「暗い」というイメージを抱いています。その理由は、「鳩注意」のアナウンスがどこか気味が悪く、さらに光が当たらない場所ですので、じめっとした雰囲気が出ているからです。モノレールももちろん開通してほしいとは思いますが、それ以上に今の町田駅の問題点を改善してほしいと思います。今後、市の方でどのような方向性で動くのかに私は関与することはできませんが、多くの方の意見が反映され、たくさんの方が良いイメージを抱く駅になるといいと思いました。



東京都立大学2年生 酒井 優子(第53期生)

◎吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、2024年5月末までに107名が参加しました。  
◎インターン生に政治活動の参加は一切求めず、あくまで社会勉強・見学のメニューです。